

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6 月 29日

札幌市長 様

提出者

住 所 〒003-0871

札幌市白石区米里1条4丁目2-1

氏 名 世紀東急工業株式会社 道央営業所

所長 門馬 浩二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-874-1090

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	世紀東急工業株式会社 北海道支店 道央営業所
事業場の所在地	札幌市白石区米里1条4丁目2-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業 一般土木建築工事業 [061]
② 事業の規模	売上高 811億68百万円、資本金20億
③ 従業員数	931名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・かれき類→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し、再生砕石として再資源化</li><li>・金属くず→現収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し再生利用</li><li>・木くず→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し→再利用</li><li>・廃プラスチック→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し再生利用</li><li>・建設汚泥→収集運搬業者に委託→最終処分</li><li>・混合廃棄物→安定型・管理型に分別し→収集運搬業者に委託→最終処分</li></ul>

(日本工業規格 A列4番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・産業廃棄物管理組織図
- ・環境法令パトロールチェックリストによる従業員の教育・研修の取組み

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ・混合
	排出量	6471.81 t	1514.13 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ・混合
	排出量	1000 t	50 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量の減量に努める。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類は分別している。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ・混合
	全処理委託量	6471.81 t	1514.13 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3961.48 t	1473.21 t
	再生利用業者への処理委託量	2510.33 t	40.92 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託基準に沿って必要な許可を持った産業廃棄物処理業者に委託している。</li> <li>・契約段階で処理業者の処理方法を確認し再生利用業者への処理委託に努めている。</li> </ul>			

## (第5面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ・混合
	全処理委託量	1000 t	50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者を選定する。			
※事務処理欄			

『建設副産物の適正処理と有効利用を徹底し、快適な生活環境の資源循環型社会構築に寄与する』

# 建設副産物管理体制表

